



## 9月定例会 196億286万円余の補正予算案などを可決 生活基盤、防災減災対策に注力

9月定例会県議会は、9月21日に開会し、10月7日までの17日間の会期で開催されました。産業振興や障がい者・子どもの支援、生活基盤の整備、防災・減災対策のための取組を盛り込んだ196億286万9千円の一般会計補正予算案等の知事提出14議案及び13件の専決処分報告を審議、いずれも原案どおり可決・承認しました。

このほか、我が会派提出の「精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書案」など議員提出7議案を可決しました。4日間開催された一般質問では、議員31名（「信州・新風・みらい」は9名）が演壇に立ち、現地機関の見直しや大北森林組合補助金問題、子ども・若者対策、再生可能エネルギー対策などを質しました。

- 補正予算のポイント**
- 活力ある産業づくり  
○観光アクセス道路整備  
（県単公共72箇所）
  - 農地の大区画化や畑地のかんがい施設の整備等（補助公共）  
9億9900万円  
15億1593万円
  - 間伐等による森林整備を推進（補助公共）  
16億2282万円
  - 障がい者・困難を抱える子どもの支援  
29億6149万円

### 平成29年度予算編成等 270項目に阿部知事に要望

例会閉会后、「平成29年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小島代表が阿部知事に手渡ししました。冒頭、小島代表は「会派に寄せられた県民皆様のご意見やご要望を踏まえたもので、しっかりと検討いただきたい」と力強く要望しました。



政策集団を自負する我が会派「信州・新風・みらい」は、10月7日の9月定

例会閉会后、「平成29年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、小島代表が阿部知事に手渡ししました。冒頭、小島代表は「会派に寄せられた県民皆様のご意見やご要望を踏まえたもので、しっかりと検討いただきたい」と力強く要望しました。

この提案書は、常に県民目線の政策実現を目指す立場から、きめ細やかなニーズに対応し内容を更に充実させた結果、昨年より15項目多い270項目に及びました。地方交付税制度の堅持を国に働きかけること、大北森林組合の補助金不適正事案に係る責

- 障がい者のための施設やグループホームの整備費用の一部を助成  
3億7818万円
- 生活基盤の維持向上  
生活に密着した道路・橋梁の整備（補助公共）  
17億7595万円
- 道路舗装、橋梁や堤防の修繕、改修等（県単公共120箇所）  
12億1700万円
- 防災減災対策の推進  
河川改修や浸水想定区域図の策定等（補助公共）  
29億6149万円
- ため池等の耐震化や地すべり対策（補助公共）  
16億6988万円
- 雨水被害等への対応（県単公共43箇所）  
7億9900万円

### 進めよう議会改革 選挙区等調査特別委 総定数や飛び地を検討へ

「選挙区等調査特別委員会」は、去る9月15日、10月4日・6日と相次いで委員会を開催。10月4日の第3回委員会で正副委員長は、総定数を現行の58のままとした場合、議員一人当たりの人口が少くない選挙区を隣接区へ合区すると「1票の格差」が2倍以内になるとする試算、いわゆる「たたき台」を示し、各会派が持ち帰り議論しました。

2日後の第4回委員会では、各会派が持ち帰って検討した結果を報告し合いましたが、「会派として意見はまとまってお

ます。提案書の詳細は「信州・新風・みらい」のホームページ「進めよう議会改革」に掲載されています。

私が会派「信州・新風・みらい」は、「現行定数を定めて以降の人口減少分を加味して検討するとともに、1票の格差の2倍以内を確保しつつ飛び地の解消に努める」としていますが、多くの意見に耳を傾けながら、より一層幅広く検討を深めてまいります。

### 大北森林組合の補助金不適正受給事案の徹底解明を

飯綱町議会から、百条委員会の設置を求める陳情が出される中、行われた一般質問では、6名の議員が大北森林組合の補助金問題をとり上げ、「全容解明が不十分だ、更なる調査を求め」などと強く質しました。これらに対し阿部知事は「すでに十分に調査した」との答弁に終始しました。

また、県は、国が県に課した加算金3億5千万円余を含む11億1千万円余を、9月12日に国に納付しましたが、組合からの返還は未だに未確定のままです。組合は、来年の1月までに返還計画を示すとする中、所管の農政林務委員会に組合の現組合長、専務理事が参考人として出席、「早期返還の責務は自覚している」との発言がありました。が、裁判を理由に事案の内容については一切口を閉ざしたままです。

今後、裁判の行方を見極めながら、継続審査となった百条委員会設置の是非、補助金返還に係る課題解決に向け引き続き徹底した全容解明を求めていきます。

ジでご覧いただけます。冊子をご希望の方は、会派までご連絡ください。

私が会派「信州・新風・みらい」は、「現行定数を定めて以降の人口減少分を加味して検討するとともに、1票の格差の2倍以内を確保しつつ飛び地の解消に努める」としていますが、多くの意見に耳を傾けながら、より一層幅広く検討を深めてまいります。

### 11月定例会日程 11月24日から 開催予定

議会運営委員会は、11月定例会を別記のとおり16日間（予定）にすることを決めました。

定例会の日程は、これまで開会1週間前に議会運営委員会で決め発表していましたが、県民から「早く知りたい」との要望がその都度30件ほどあったことから、議会の一環として大幅に前倒しして予定日を公表することにしました。

11月定例会の予定は、次のとおりです。

- ▽11月24日 開会
- ▽29日 12月2日 一般質問
- ▽5日 8日 委員会審議
- ▽9日 閉会